

まちづくり交付金 事後評価シート
豊川街なか地区

平成20年12月

愛知県豊川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	豊川市		地区名	豊川街なか地区			面積	982ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	2,247百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(都市計画道路1路線)、地域生活基盤施設(避難地2箇所)										
		提案事業	保育園耐震改修等事業、地域福祉センター耐震改修等事業、市民館耐震改修等事業、防災ボランティアコーディネーター養成講座事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	防災啓発事業										
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(防災広場・避難地(諏訪)・避難所)										
提案事業		中小学校耐震改修等事業 防災施設整備等事業 保健センター耐震改修等事業 安全・安心事業 子育て支援センター整備事業 事業効果分析調査 自主防災意識啓発事業											
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	公共施設等の耐震化率	%	51	H16	70	H21		88	○	あり なし	公共建築物の耐震化事業について、子どもが利用する施設を中心に前倒し、まちづくり交付金を活用して耐震化をすすめたことにより、各庁ごとに必ずしも優先順位の高い公共施設に対する耐震化のきつかけとなり、所管省庁の異なる幅広い公共施設について積極的に目標値以上の耐震化が実現できた。なお、まちづくり交付金を活用していなければ、今の水準に達するまで10数年は要していたと考えられる。	平成21年5月頃
	指標2	自主防災会の防火防災訓練実施	回/年	58	H16	75	H21		95	○	あり なし	耐震改修事業や防災広場の追加により、市民の防災意識が高まり、訓練実施回数も期待以上に増加した。また、その増加内容についても、新たに防災訓練を実施する自主防災会が増えてきていることから、地域全体に効果発現していると考えられる。	平成21年5月頃
	指標3	広域避難場所確保面積	ha	20.95	H16	22.95	H21		22.95	○	あり なし	計画通りに広域避難場所を整備できたことにより、目標値が達成できた。	
	指標4	子育て支援環境に対する満足度	%	27.0	H19	30.0	H21		30.5	○	あり なし	計画通りに子育て支援センターを整備できたことにより、目標値が達成できた。	平成21年6月頃
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	たびたび市議会でもまちづくり交付金のことが取り上げられ、制度の周知が図られたとともに、積極的な利用へとつながった。 ・防災ボランティアコーディネーター養成講座により養成されたコーディネーターが講師となり、また新たなコーディネーターを養成する体制が構築されている。 ・防犯灯や道路照明灯の設置、学校の防犯カメラの設置により、地域の安全性を高めることができ、地元では防犯ボランティア活動が活発化している。												
5)実施過程の評価	実施内容												
	実施状況												
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									今後の対応方針等	
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	防災訓練の実施や防災啓発イベントの実施 地域での防犯活動などの継続的実施												
	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												

様式2-2 地区の概要

豊川街なか地区(愛知県豊川市) まちづくり交付金の成果概要

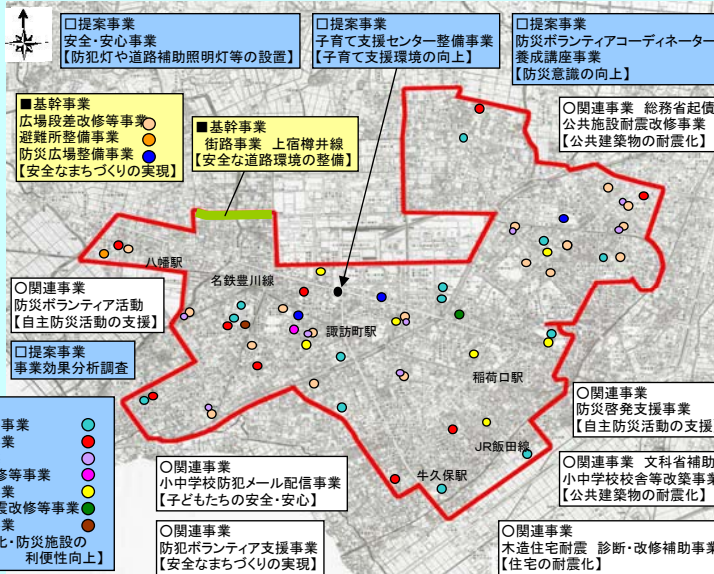
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 : 安全・安心・地域防災のまちづくり ~子どもの命を守る積極的な防災まちづくり~	公共施設等の耐震化率	51 H16	70 H21	88 H21
目標1 災害時に何としても守るべき子どもの施設等の耐震改修等を短期間かつ集中的に行い、安心して定住できるまちづくりを推進する。	自主防災会の防火防災訓練実施	58 H16	75 H21	95 H20
目標2 地区内の物資輸送路、緊急車両用道路等に資する防災道路網を整備し、また、広域避難地等の防災広場を取得することで、災害に強い中心市街地(街なか)を実現する。	広域避難場所確保面積	20.95 H16	22.95 H21	22.95 H21
目標3 地区住民による自主防災機能を向上させ、ハードとソフトの相乗効果を発生させることで、地域防災のま	子育て支援環境に対する満足度	27.0 H19	30.0 H21	30.5 H21

公共建築物の耐震化事業

:地区内の保育園、小中学校、武道館、地域福祉センター、市民館、保健センターの耐震診断と耐震改修工事を行いました。



避難地整備事業(避難地確保・段差解消・トイレ改修等)や防犯灯・道路補助照明灯等の設置事業



防災ボランティアコーディネーター養成講座事業

:災害時に、防災ボランティアによる救援・救助活動が円滑・効果的に行われるよう、市の設置するボランティア支援本部でボランティアと被災者との調整を行う人材を養成しました。



子育て支援センター整備事業

:プリオビル5階に子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター、少年愛護センター、家庭児童相談室を集約しました。



まちの課題の変化

- ・都市計画道路上宿禰井線の整備、防災広場や避難地の整備に併せ、ソフト事業である自主防災意識啓発事業などの実施により、災害に強い基盤作りが進んだことに併せ、自主防災組織による防火防災訓練も積極的に行われ、とりわけ、新たに防災訓練を実施する自主防災会も増えてきており、地域防災のまちづくりの推進が図られた。
- ・保育園や小中学校といった、何としても守るべき子どもの施設等を中心に公共施設の耐震改修が進み、公共施設の耐震化率が88%となった。それにより、公共施設利用者が安心して利用出来るようになり、安全なまちづくりが実現してきている。
- ・所管となっている省庁は異なっているものの、子どもの命を守るという市としての共通目標をもち、事業部局だけでなく、企画部局、財政部局とも連絡を密にし、進行管理等の連携を図ることができた。
- ・子どもの施設等の耐震化や、子育て支援センター等の整備により、災害にも強く、安心して暮らせる市街地の整備が行われ、都市の魅力向上を図ることができた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・自主防災組織による防災活動の継続
自主防災組織による防災訓練等の回数がまちづくり交付金の期間内に増加し、高水準で推移していることから、引き続き、今の水準を維持し続けるようにする。
- ・都市計画道路上宿禰井線の整備
まちづくり交付金の期間内に、地区の整備方針としていたボトルネックの解消は図られたものの、引き続き、整備を進めていき防災道路網の整備を推進していく。
- ・都市の魅力向上
都市の魅力向上を図る施設整備が進められていることから、そういった施設を核として、まちの賑わいを形成するとともに、中心市街地活性化基本計画の作成とも連動し、住みたくなるまちを維持し続ける必要がある。
- ・住宅・建築物の耐震化の促進
民間の住宅、建築物の耐震化の促進についても取り組んでいく。